

平成27年度  
学校関係者評価報告書

《実施日：平成27年 7月17日》  
学校法人 新潟総合学院  
郡山情報ビジネス公務員専門学校

## 学校法人新潟総合学院 郡山情報ビジネス公務員専門学校 学校関係者評価報告について

本校では、平成 23 年度から、すべての教育内容や通常の業務において現状を点検し、更なる改善・向上を図っていくため自己点検・評価に取り組んでおります。平成 24 年 7 月には自己点検を実施し、評価報告書を取りまとめて、本校のホームページ上で公表いたしました。

また、平成 25 年度からは、本校に関係の深い企業・団体の方々を中心にご意見等を幅広くお聞きして今後の教育活動や学校運営に反映させるべく、「学校関係者評価」を実施しております。

平成 27 年度におきましても、去る7月 17 日に学校関係者評価委員会を開催し、委員の皆様から多くの貴重なご意見やご指導をいただき、改めて学校評価の重要性を認識したところです。

ここに、学校関係者評価の内容について報告いたします。今後とも、より良い教育、より良い学校運営を目指し、教職員一同努力して参る所存でありますので、引き続き一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

平成27年 8月

学校法人新潟総合学院  
郡山情報ビジネス公務員専門学校  
学校長 小林 一雄

### 1. 「学校関係者評価」の実施方法について

今回の学校関係者評価は前年に引き続き、文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえた評価項目に沿って実施した「平成26年度自己点検・評価報告書」について、本校に関係の深い企業・団体の方々与本站校長とで構成する評価委員(委員一覧表)に評価していただいた。

各評価委員には、事前に前記の自己点検・評価報告書及び学校評価に関連する資料等を配付した上で、学校を代表し校長が説明し意見等を聴取した。

評価委員からの意見は、進行担当として参加した校長・教務部長・学科長・就職推進室長が、その内容等について要約の上、報告書として取りまとめた。

自己点検・評価報告書(平成26年版)と併せてご覧いただきたい。

## 2. 学校関係者評価委員一覧表（敬称略）

評価委員	企業・団体	役職	備考
永山 三郎	元 郡山情報ビジネス専門学校校長		所用により 欠席
鈴木 秀明	郡山商工会議所	開発事業部 部長	
三部 吉久	税理士法人 三部会計事務所	代表社員 所長	三部香奈様 代理出席
桑原 一徳	郡山情報ビジネス専門学校同窓会会長		
影山 幸一	福島交通観光株式会社	郡山支店 営業課長	

## 3. 委員会次第（概要）

全体進行は学校長が担当

### (1) 開会

### (2) 学校長挨拶

### (3) 学校評価に係る経緯説明

学校長から、委員会資料「学校関係者評価の実施にあたって」、「専修学校における学校評価ガイドライン概要」に基づき、学校評価の目的や必要性及び経緯について説明した。

### (4) 平成26年度自己点検・評価報告 及び討議・意見交換

学校長から、沿革を含めた概要（現状）について説明の後、「平成26年度学校法人新潟総合学院 郡山情報ビジネス公務員専門学校 自己点検・評価報告書」の点検・評価項目（1～9）達成状況及び取組状況について、課題及び改善策等を報告した。

平成26年度自己点検・評価については、前年度の委員会での指摘「項目の重要度ランク別表示の検討」を受けて、重要度ランクの項目を「A＝青、B＝水色、C＝白」に色分けし、また段階評価も「4＝青、3＝水色、2・1＝白」に色分けし、相関関係を認識しやすくした旨の説明を付加した。

各評価委員から、自己点検・評価報告に対するご意見やご指導をいただいた。

（詳細は後記のとおり）

### (5) 御礼・閉会

#### 4. 平成26年度自己点検・評価報告および討議・意見交換について

自己点検・評価報告書の点検・評価項目(1～9)達成状況及び取組状況について、課題及び改善策等を報告した。本校に対しての要望等を含め、点検・評価項目に関する貴重なご意見をいただいた。

##### 1 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

学外への教育理念等の公表については、保護者などの関係者へは公表されているが、広く一般への公表はなされていない。今後 HP への掲載を推進する必要がある。

教育計画の掲示等について、各クラス担任により年間スケジュール・検定受験予定等を教室掲示しているが、内容の統一化を進める必要がある。外部に対しても HP にて開示を進める必要がある。

##### 2 教育の内容

学生アンケート(授業アンケート)については毎年継続的に実施し、結果の個人へのフィードバックや特に問題のある科目担当についてレポート提出を実施しているが、全体のレベルアップに向けて組織的な取り組みが必要。

高等教育機関との連携については、H27 年度より「こども保育科」にて短大併修授業を実施。

##### <委員から質問>

授業アンケートについて、結果はどのような形で教員にフィードバックされているのか。

##### <校長より返答>

アンケート結果が、科目ごとに1枚のシートにまとめられて返信されて来るので、面談(校長もしくは教務部長にて)の際に、そのまま開示し状況を確認している。

##### 3 教育の実施体制

図書について、こども保育科新設に伴い幼児教育系図書は整備済み。他学科も含め書籍の充実化を推進している。

施設・備品について、施設は業者により定期点検実施。備品については費用面から補充品・交換品の在庫は最小限とし、都度対応している。

##### 4 教育目標の達成度と教育効果

卒業率については、退学率の形で関係者に公表している。今後は広く一般に HP にて公表を計画する。

卒業後の就業状況の把握・公表について、現在は職員が企業訪問した際に状況を調査する程度にとどまっている。今後は同窓会とも連携し同窓会会報の発送の際に、卒業1年後の同窓生に就業状況アンケートを同封するなど、手法等について検討を進める。

##### <委員からの意見>

会報はあくまでも「お知らせ」的な送付物であるため、そこにアンケートを同封した場合その主旨が十分伝わらず回収率が低下する恐れがあるのではないかと。学校名で別に郵送した方が、重要性が伝わり回収率が上がることが考えられる。

##### <校長より回答>

アンケート内容や費用対効果も含め今後、同窓会役員の皆様と協議していきたい。

#### 5 学生支援

「保護者の会」について、在校生の出身地は県内各地(一部県外)に分散しており、現状では組織化が難しい。各学科代表の保護者から組織化するなどの検討を継続する。「企業の会」についても組織化は進んでおらず、逆に各業界団体に積極的に加盟している。こちらから出向いて情報交換・情報発信を行っていく事により、企業との関係を構築している。  
学校情報の企業への告知については、HPの企業向けの内容を充実させていく。

#### 6 社会的活動

地域貢献・社会貢献は学校の重要な取り組みとして推進している。

#### 7 管理運営

各項目とも適正に運用されている。

#### 8 財務

法人としても、学校としても、いずれも適正に運用されている。

#### 9 改革・改善

評価は実施・告知されているが、それに基づくアクションが弱い。改善計画の策定とより強い推進が必要である。

#### <委員からの全体的な意見・指導等>

外部連携については、部活動的な位置づけで地域イベントに参加してはどうか。様々な体験が学生の成長につながるものとする。

企業の会については、企業側からすれば「優秀な学生との接触」という点でも期待できるものであり、検討を進めていただきたい。

自己点検評価表について、改善されていることが理解できるように、今以上に編集・表示に工夫が必要である。ページ No.を付けるなどきめ細かな配慮も必要と思われる。

今回は「学生の手引き」などの資料は当日配布されたが、他の確認資料も含め事前に目を通すことができれば、より精度の高い評価が出来るのでは無いかと考える。

今後もきめ細やかな学校運営を行い、地域に有用となる優秀な人材育成の推進を期待する。

#### 5. 校長より総括・謝礼:

本校での学校評価・関係者評価は3年目になり、評価を継続することでやらねばならない課題が見えてきている。

時代の変化に対応した人材育成を進めるべく、本日いただいた意見を踏まえ、また1年後により良い学校として皆様に報告できるよう、学校運営を進めていきたいと考えている。

今後も変わらないご指導を賜りたい。

以上